

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第1号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第1号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R3 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R3 (hr)	平年比 (%)
4月	1	12.0	17.2	5.2	17.9	22.2	4.3	6.6	11.6	5.0	21.5	1.5	7	27.4	22.2	81
	2	13.1	13.3	0.2	19.1	21.3	2.2	7.6	6.6	-1.0	23.0	0.0	0	28.7	49.0	171
	3	13.9	14.0	0.1	19.9	20.4	0.5	8.4	7.3	-1.1	23.0	12.5	54	29.3	33.9	116
	4	14.7	13.6	-1.1	20.8	19.9	-0.9	9.0	7.2	-1.8	24.5	12.5	51	30.2	38.7	128
	5	15.5	19.0	3.5	21.8	26.9	5.1	9.8	12.4	2.6	26.7	0.0	0	30.5	35.9	118
	6	16.4	16.4	0.0	22.7	21.8	-0.9	10.7	11.1	0.4	28.7	55.0	192	30.3	26.8	88
5月	1	17.4	15.6	-1.8	23.5	21.1	-2.4	11.8	9.2	-2.6	31.5	28.0	89	29.6	33.8	114
	2	18.1	19.3	1.2	24.2	24.8	0.6	12.6	13.4	0.8	33.3	2.0	6	29.7	39.5	133
	3	18.5			24.7			13.0			33.4			30.0		
	4	18.9			25.1			13.4			28.9			30.2		
	5	19.6			25.9			14.1			23.1			31.0		
	6	20.5			26.8			15.1			26.8			37.6		

〇4月の気温は、平年に比べて1°Cほど高く推移した。また、降雨量は81.5mmと平年に比べて少なく（平年比56）、多照傾向となった。

〇5月1半旬は気温は平年に比べ1~2°C低くなったが、2半旬の気温は高くなり多日照で推移した。

◀福岡管区気象台の1か月天気予報（5月8日発表）（予報期間 5月8日から6月7日まで）▶

暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。前線や低気圧の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く日照時間は少ないでしょう。

2. 情報田生育概況（調査日：5月11日）

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本/m ²	主 稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ	本 年 値	29.1	251	7.9	41.8	・草丈は平年に比べてやや低く 茎数は平年並み。 ・主稈葉齢は平年に比べて0.2葉 少ない。 ・現在、4号分けつ、5号分けつが 発生している （3号分けつも一部見られる）
	平 年 値	30.4	250	8.1	42.6	
	平年比（差）	96	100	-0.2	-0.8	

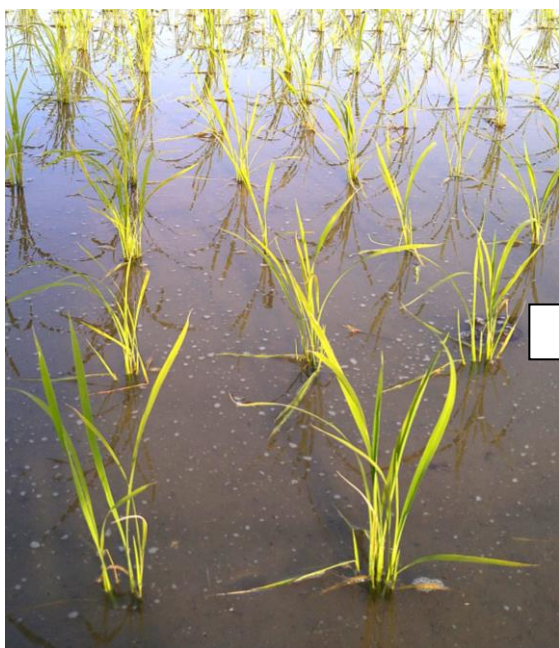
※ 平年比は、本年値の平坦部と平年値の差

(耕種概要)

品 種	年次	苗質		移植日 (月日)	栽植密度 (株/㎡)	備考
		苗丈	葉令			
コシヒカリ	本 年 値	14.1	3.6	4月 5日	18.1	前作 大豆
	平 年 値	13.8	3.6	4月 6日	16.5	

(管内の生育状況)

- 本年産コシヒカリの移植は、早いところで4月4日から始まり、**4月5日～8日**にかけて行われた。
- 移植直後の強風により、一部葉先の裂傷等が散見された。その後天候は気温が高く推移したことで、活着は順調に進み、現在、3～5号分けつが確認される。
- 一部で野菜残さ等のすき込みによるガス(わき)の影響で株の黄化や消失も見られた。



(写真左) 5月2日情報田の生育状況

(写真右) 5月11日時点の生育状況

この10日間で葉色は濃く、茎数が増え株が開帳しはじめている。

3. 今後の管理

(1) 水管理

- 茎の充実を図るため、**浅水管理** を続け、分けつの確保を図りましょう。
(浅水管理の目安 ⇒ 田面の高いところを基準に、足跡に水が溜まるくらいあればよい)
- ただし、強風が予想される場合は、稲体を保護するためにも **深水管理** としましょう。

(2) その他

- いもち病などの発生源となる補植用の『置き苗』は、すぐに除去しましょう。
- 常時湛水した圃場において、表層剥離が発生し分けつ発生抑制につながっています。一度、落水したのち、入水して浅水管理に移行してください。

「七タコシヒカリ」は特別栽培農産物の認証を受けるためにも、農薬成分回数9成分を超えないように注意しましょう！